

# Greeeenピース

先週から1学期期末考査が終わり、今週中にはほぼすべてのテストが返却されたことでしょうか。テストの結果を受けて、勉強の成果に喜んだり、これまでの勉強の仕方を反省したりする姿が見られました。その場だけの反省で終わらせず、今後の学習に反映させましょう。ところで、テストの『振り返り』はしているでしょうか。テストで学んだことを身に着け、今後に生かすためには、実施後すぐの『振り返り』が重要です。しかし、『振り返り』で何をすればよいか迷っている人もいることでしょうか。チェックリストを載せましたので、こちらを参考に『振り返り』をしてみてください。きっと良い「学び」につながるはずです。

- どの問題を間違えたか把握している
- なぜ間違えたのかを把握している（ケアレスミス・公式を覚えていなかった・理解できていない など）
- 理解できていなかったものについては、教科書を読み返したり、先生にきいたりして解決した
- 問題を解き直し、解けるようになった
- 教科ごとに、勉強のやり方の課題や対策について具体的に検討した
- テスト対策の計画を振り返った（勉強時間は十分だったか、ダラダラしている時間はなかったか など）

## 給食後の歯磨き週間

江戸川区では虫歯の児童生徒が多いことを受け、月に一度、区からの歯ブラシが支給され、給食後の歯磨きが行われるようになりました。初めての給食後の歯磨きでしたが、水道の近くで丁寧に歯を磨き、譲り合いながら口をすすいでいました。今月は8日から12日が歯磨き週間です。歯磨きを週間づけ、虫歯を予防しましょう！



## 将来何になりたいですか??

先週、キャリア教育として職業調べが始まりました。「わたしの進路」という冊子を使って、様々な職業についてしり、そこから興味ある仕事を3つ選んだり、グループで合いそうな職業を考えたりして職業への興味関心を高めました。今後、気になる職業に関する調べ学習やインタビューを通して、『職』への理解を深めていきます。それにあたり今、図書室の職業に関する本を少人数教室前のメディアにまとめていつでも読めるようになっています。具体的に職業について知るのももちろん、「スポーツ関係の仕事は何があるのだろう」「自分に合う職業って何だろう」といった漠然とした疑問に役立つことでしょうか。将来について考えるきっかけにしてください。



## 当面の予定

二週間分の予定です。先を見通して生活しましょう。

※HPからも行事予定を確認できます。

曜	日	行事等	時程	日	行事等	時程
月	1	朝礼	50×6	8		50×6
火	2	人権教室	50×6	9	セーフティー教室	50×6
水	3	牛乳パック回収	50×5	10	歯磨き週間	50×5
木	4		50×6	11		50×6
金	5		50×6	12	専門委員	45×6
土	6			13	土曜授業、保護者会、移動教室保護者説明会	45×2



## 作文「運動会を終えて」

作文「運動会を終えて」をご紹介します。今週号は、1組・2組・3組の生徒です。

### 「無題」 1組 M・S

6月1日にたくさん練習してきた運動会があった。そこで自分のクラスの仲がより深まったと思った。競技はオールスターリレー、大縄跳びがあった。自分のクラスは、初めてのオールスターリレーの時、バトンパスが下手で、最下位だった。しかし、陸上部の人の話を聞いたり、動画を見たりして、バトンパスがうまくなり、当日4位になれた。大縄跳びでは、初めての練習のときは6回、次は12回、次は19回、という感じで最高回数が増えていった。予行練習では29回で、その日の日直が、本番に30回をとっておくなんてさすがですね、と言っていた。本番、その通りに30回を超え、33回跳べた。しかし36回跳んだ5組に負けてしまった。少しだけ悔しかったが、正直そこまで悔しくなかった。なぜなら、友達と30回行けばいいねと言っていたからだ。大縄がギリギリ2位だったのに、ほかの人も喜んでいて。結局総合順位は4位だった。しかし、転んだ子を心配したり、他のクラスよりもずっと語ったりして、すごく仲が良くなった気がする。新しいクラスメイトと運動会をきっかけに話すようにもなれた。さらに、学級目標にもある一致団結を大縄で達成でき、一生懸命も全てで達成できた。順位は4位だったが、去年よりもっと楽しい運動会になったと思う。だが、やっぱり文化祭では最優秀賞を狙っていきたい。

### 「運動会を終えて」 2組 A・K

僕は運動会を終えて、協力することの大切さを改めて感じた。

運動会の2年生の学年種目大縄跳びだった。ぼくはその回す役をすることになり、最初、「回すだけなら簡単だろう」と思っていた。しかし、1回目の学年種目でいざ縄を回してみると、縄が重く、手も痛い。しかも、少し回しただけでかなり息が上がった。僕は縄を回す役に決まってしまったことを少し後悔した。だが、練習を重ねていくうちに、徐々に慣れていき、クラスでも跳べる回数も増えていった。失敗したとき、何がうまくいかなかったか、どうして失敗してしまったのかを運動会実行委員を中心にみんなで話し合っているのを見ると、一致団結というのはまさにこのことなんだなと思った。運動会当日では思うような結果が出せなかったが、この運動会までの練習で見た、運動会実行委員を中心にみんなで話し合っている姿や、縄を飛ぶときに全員で一緒に声を出している姿を見て、今年の運動会は自分にとって「協力する」ということが感じられる運動会となった。

### 「楽しむ」 3組 N・K

私は、運動会を通して楽しむことの大切さを知ることができた。

大縄の練習を始めた日、中々1回も跳べない場面が続いた。他のクラスの方を見てみると、すでに1回跳べているクラスや連続して跳べているクラスがあった。私は、もう大縄で勝つことは無理だろうなと思ってしまった。1回跳べるようになったときは、とても嬉しかったけれど、あまり素直に喜べなかった。

しかし、何回目かの練習のときに、17回連続で飛ぶことができた。今まで10回以上跳べたことがなかったので、そのときは、1回跳べたときよりも何倍も嬉しかったし、心から喜ぶことができた。そして、段々と別に勝てなくてもみんなで喜んで、笑うことができればそれで良いのではないかと思い始めた。最初は勝つことが1番ベストだと思い込んでいたけれど、楽しめなかったら意味がないと練習を重ねて気づくことができた。

運動会当日、最初から目標にしていた20回を、クラスみんなで跳ぶことができた。その後は惜しくも20回を超えることはできず、順位は4位だったけれど、嬉しいという気持ちが勝っていた。総合順位も5位と、結果だけ見ればあまりうれしいと思えないかもしれないが、自分は満足していた。

個人的に、運動会は勝ち負け関係なく、クラスみんなで協力して練習を行い、絆を深め、運動が得意な人も、苦手な人も楽しんで終わることが大切なのではないかこの運動会を通して思った。そのため、これからの行事も、楽しむことを大切にしてクラスみんなで全力で取り組んでいきたい。